

# 全労金2024春季生活闘争ニュース・第30号

～勝ち取ろう賃金改善！進めようジェンダー平等！みんなで一歩先のステージへ！～

《合意速報No. 11》

## 中央労組が金庫との団体交渉で、基本合意を表明しました！

中央労組は、3月19日13時から、金庫と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

		要 求								回 答									
		正職員 <small>(従来範囲：全職)</small>		≠リア原定期員 有期労働契約職員		専門技術職			再雇用		正職員 <small>(従来範囲：全職)</small>		≠リア原定期員 有期労働契約職員		専門技術職			再雇用	
		A3~5、A.L	A2	A1	正職員	契約職員	嘱託職員	ABCEF	DG	正職員	A3~5、A.L	A2	A1	正職員	契約職員	嘱託職員	ABCEF	DG	
基本賃金	改善内容	12,000円	12,000円	時給額78円	12,000円	時給額78円	時給額78円	12,000円	時給額78円	10,000~ 17,000円	10,000円	時給額65円	10,000円	時給額65円	時給額65円	10,000円	時給額65円		
	定昇相当額 <small>(実在者平均)</small>	3,000円	3,000円	時給額12円	3,000円	時給額12円	-	-	-	3,000円	3,000円	時給額12円	3,000円	時給額12円	-	-	-		
	合 計	15,000円	15,000円	時給額90円	15,000円	時給額90円	時給額78円	12,000円	時給額78円	13,000~ 20,000円	13,000円	時給額77円	13,000円	時給額77円	時給額65円	10,000円	時給額65円		
最低賃金	時間額1,200円、日額8,800円、月額104,800円への引き上げ								要求通り										
一時金	4.7	2.0~4.7	制度化(0.2)	1.0	制度化(0.2)	制度化	前年実績	制度化	4.7	2.0~4.7	応じられない	1.0	応じられない	応じられない	前年実績	応じられない			
昨年実績	4.7	2.0~4.7	-	1.0	-	-	支給	-	4.7	2.0~4.7	-	-	-	-	支給	-			
安定雇用	無期転換	-	(実現)	-	-	-	-	-	-	(実現)	-	-	-	-	-	-			
雇用環境	私傷病休職	-	(実現)	-	-	-	-	-	-	(実現)	-	-	-	-	-	-			
	育児時短	(小学校卒業まで)								(小学校卒業まで)									
単独自主要求	有給休暇積立制度(積立年休)の制度拡充について、時間単位制度の新設、及び、使途条件の拡大を申し入れ								労使協議には応じていく										
関連会社	金庫に対し、申入書を提出								主幹部(総合企画部)が中心となり、適切な対応を図る										

### 《金庫の発言概要》

- 厳しい経営環境が継続しているが、金庫の役職員は労金職員として使命感を持ち、自らの職責を全うしようと懸命に奮闘いただいた。第7期中計の中間年度のご尽力に対し、心より感謝申し上げたい。
- 若年層への傾斜配分は、社会全体、特に金融業態における大幅な採用給等の引き上げに対するものであるが、全体の一律引き上げも最大限考慮した。
- 交渉過程で議論された人事制度に関わる課題は、今後の労使間で議論していく。職場実態や意見等、具体的に課題提起もお願いしたい。
- 次年度以降の春闘においても、賃金水準のみならず、様々な課題認識を合わせながら、課題解決に資する議論を並行して行う文化を作り上げていきたい。

《源波闘争委員長の発言概要》

- 2024春季生活闘争が連合の掲げた「未来づくり春闘」として、新たな経済社会へのステージ転換に向けた大きな一歩となったと受け止めている。
- 単組では、2024闘争を「正念場」と位置付け、全職場・全組合員を巻き込み、一斉職場集会や統括支部長会議等、職場と一体となった取り組みを展開してきた。
- 2024春季生活闘争の大きな争点として、これまでの中央労金労使の歴史を踏まえた労働組合の「一律」の考え方に対し、今後の採用競争や人財の確保に伴う職場への影響を踏まえた金庫の「傾斜」の考え方が争点となった。初任賃金の大幅な引き上げによる採用競争や人財の確保を目的とした金庫の考えに対し、組合員の認識にずれが生じた。現場では、毎日必死に本気で労金運動を展開していることを理解してほしい。労金の理念、そして、日本で唯一の福祉金融機関として、労金運動・労働者自主福祉運動を展開していることにプライドを持ち、会員・勤労者のために踏ん張っている。そのことを金庫が理解したうえで「人を大切にする経営」を実践してほしい。
- 本日の回答は、職場・組合員の声も踏まえ、組合員に対する「感謝」「期待」を込めた「生活防衛」「人への投資」「未来への投資」「人を大切にする経営」等、組合員に対する経営のメッセージとして重く受け止める。まさに金庫が組合員のことを信用した結果と捉えており、あらためて金庫の英断に感謝する。
- 組合員は金庫を信用し、金庫は組合員を信用する、このような営みこそが、「良好な職場風土」にまた一步近づくのではないかと考える。今後も経営の思いをしつかりと組合員に伝えていくことをこの場で約束する。

単組は、①基本賃金の改善について、春季生活闘争期間中に集めた組合員の切実な声、及び、春季生活闘争における労使の社会的な役割発揮の実現等を踏まえ、組合員に対する最大限の評価として、当初の要求である「一律12,000円」に対し「一人平均12,000円」と、満額ではないが金庫の原資を同程度引き出せたこと、②一時金制度のない雇用形態に対する制度化について、今後、制度改正に向けた定期的な労使協議を行うとの方向性の認識が揃えられたこと、等から基本合意を表明しました。

\* 合意単組（7単組／3月19日19時50分現在）

沖縄、九州、九州（関連）、北海道、四国、四国（関連）、近畿、近畿（関連）  
東北、東北（関連）、中央

以 上